

設置ガイド

センサーカメラ 屋内タイプ

バイエル シーエム
品番 **VL-CM100**

- この設置ガイドは正しく、安全にご使用いただくための設置方法について記載しています。よくお読みの上、正しく設置してください。
- 特に本ガイドに記載の「安全上のご注意」は、設置前に必ずお読みいただき、安全に設置してください。また、ご使用前に別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」と「ご使用上のお願い」を必ずお読みください。
- 正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 各機器に登録するときに、電源を入れ直す必要がありますので、送電装置は手の届く場所に設置してください。

本ガイド内での表記について

- 本ガイドでは、「センサーカメラ」を「カメラ」と表記しています。
- 本ガイドでは、「テレビ」、「レコーダー」、「テレビドアホン」、「パソコン」を総称して、「各機器」と表記していることがあります。

設置のながれ

設置は、登録ガイドに従ってカメラを各機器に登録したあとに行ってください。

カメラを登録する	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラと各機器を仮接続して、カメラを登録する ● 各機器でカメラの画像を確認する 	登録ガイド
カメラの基本設定をする	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器ごとにカメラの基本設定を行う 	取扱説明書
右記の項目をよく読む	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全上のご注意 ● 設置上のお願い ● 各部のなまえとはたらき 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 本ガイド2ページ ☞ 本ガイド2～3ページ ☞ 取扱説明書
カメラを設置する	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性を理解したうえで、適切な場所にカメラを設置する ● センサーの検知範囲/感度を調整する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 本ガイド3～5ページ ☞ 本ガイド6ページ

お知らせ

- 携帯電話でカメラ画像を見たい時は、「みえますねっと Lite」サービス(有料)に申し込んでください。カメラ設置前に申し込む場合は、「みえますねっと Liteガイド」を参照してください。カメラ設置後に申し込む場合は、別冊の取扱説明書の「携帯電話でカメラの画像を見る」を参照してください。

準備するもの

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

<input type="checkbox"/> 本体 1台 	<input type="checkbox"/> ACアダプター 1個 (コード長さ 約3 m) 	<input type="checkbox"/> 送電装置 1個 	<input type="checkbox"/> スタンド 1個 	<input type="checkbox"/> 安全ワイヤー 1本 (長さ 約0.3 m) 
<input type="checkbox"/> ねじA (4 mm×20 mm) 6本 	<input type="checkbox"/> ねじB (2.6 mm×10 mm) 1本 (本体と安全ワイヤー取り付け) 	<input type="checkbox"/> ワッシャー (大) ... 1個 (壁側での安全ワイヤー固定用) 	<input type="checkbox"/> ワッシャー (小) ... 1個 (本体側での安全ワイヤー固定用) 	<input type="checkbox"/> LANケーブル* 1本 (長さ 約3 m) 

* 送電装置と各機器を接続するために市販のLANケーブルが別途必要です。設置の際に必要なとする長さのLANケーブルを用意してから設置してください。LANケーブルはストレートケーブル(カテゴリ5以上)をご用意ください。

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

商標/登録商標について

- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本ガイドに記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

マーク表記について

- **お願い** 設置上、お守りいただきたい重要事項や禁止事項を記載しています。必ずお読みください。
- **お知らせ** 操作の参考となることや、補足説明を記載しています。
- (☞○ ページ) 説明上、参照していただきたいページを記載しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。


(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。


警告

本製品を壁に取り付けて使用するときは、**堅固・確実に取り付ける**

 落下により、けがの原因になります。


不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁や天井には取り付けない

〔石こうボード・ALC（軽量気泡コンクリート）・コンクリートブロック・厚さ2.5 cm 以下のベニヤ板など〕

 落下により、けがの原因になります。
禁止

AC アダプターを破損するようなことはしない

〔傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、重い物を載せたりしない〕

 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

●修理は、販売店にご相談ください。

設置上のお願い

設置場所について

- 夏場のように周囲の環境温度と人体との温度差が少ない場合は、検知範囲内でも人感(熱)センサーが動作しないことがあります。
- カメラの近く(約1 m以内)では、検知範囲の外でも検知することがあります。
- 人感(熱)センサーの前に障害物があると、人感(熱)センサーが反応しません。障害物を取り除くか設置場所を変えてください。
- 誤動作、変形、故障を避けるために、以下のような場所へは設置しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 台所など油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
 - 火気・熱器具の近く
 - 電子レンジや磁石などの強い磁気を発生する物の近く
 - エアコンのそばなど温度変化の激しい場所
 - 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
 - 温度に影響するような強い発光物(蛍光灯など)がある場所
 - 携帯電話など強い電波を発信する製品の近く

お知らせ

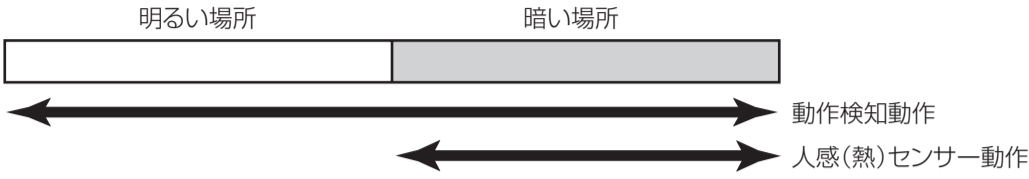
- 常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知、人感(熱)センサーを使わないことをお勧めします。動作検知、人感(熱)センサーは、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。
- センサーを使うことによって生じた事故などの結果について、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

設置上のお願い (つづき)

動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性を理解したうえで、適切な場所にカメラを設置してください。

動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性

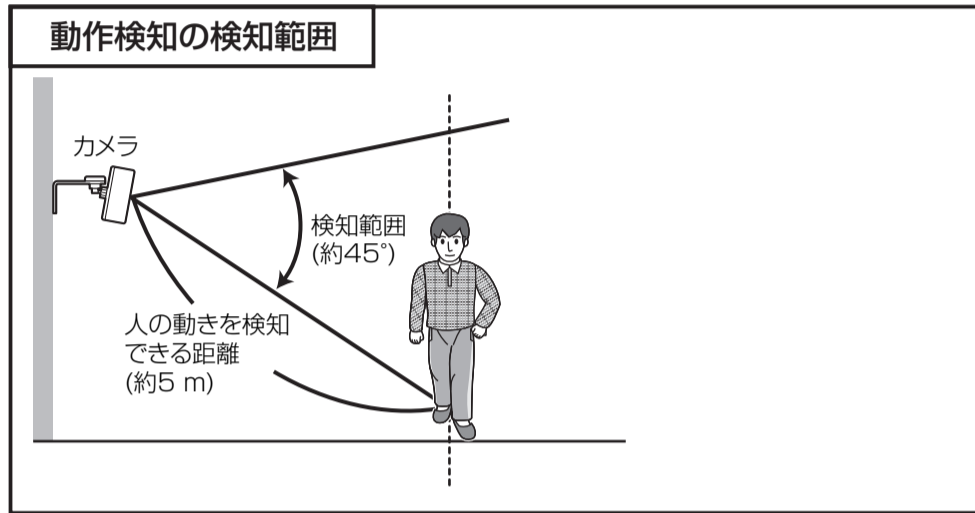
動作検知および人感(熱)センサーの動作は、明るさにより異なります。



- 明るさの判断は、画像の明るさに応じてカメラが自動で行います。

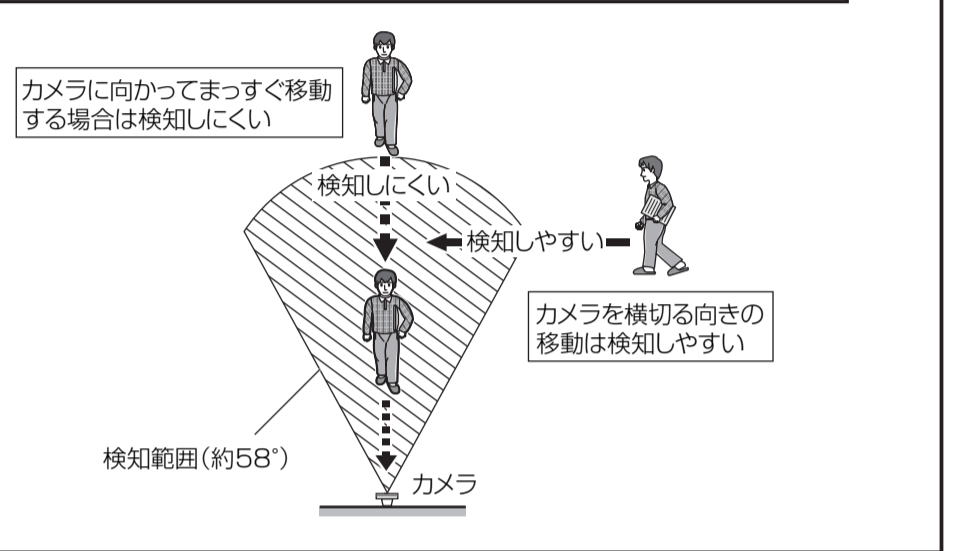
動作検知について

カメラが撮影した画像内の変化を検知します。



- 動いている被写体と背景の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。
- 外部照明の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合があります。
- 暗くなると検知しにくくなります。

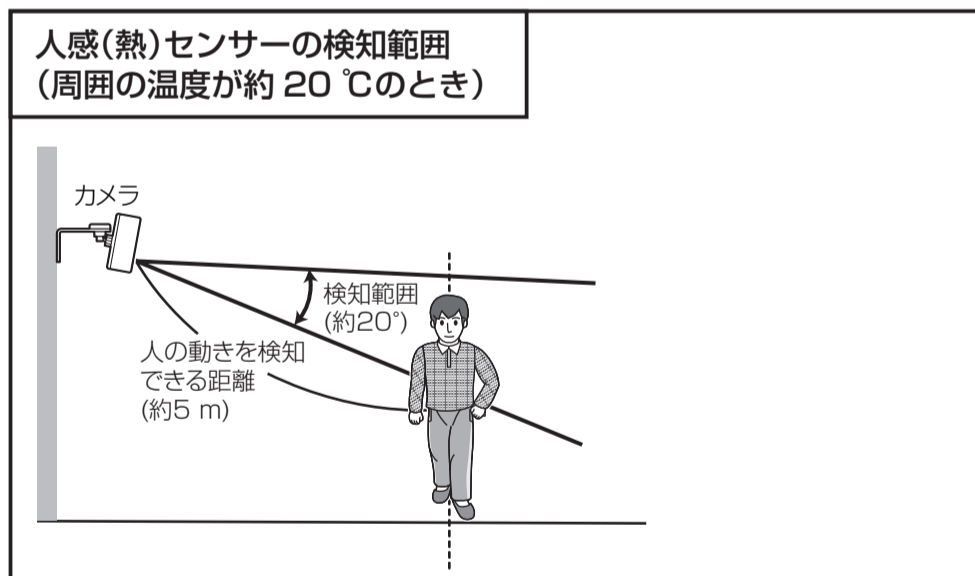
動作検知の特性(検知しやすい向き、検知しにくい向き)



- 動作検知機能は、動きの変化を動体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。
- センサー検知の間隔は約1分です。検知後の約1分間は、次の検知を行いません。(「みえますねっとLite」を除く)

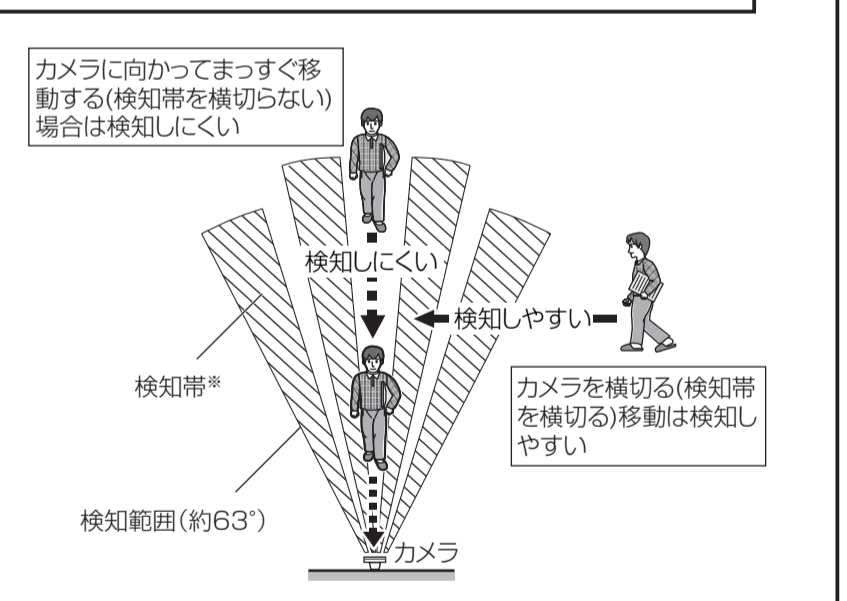
人感(熱)センサーについて

人や動物などの温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知するセンサーです。



- 夏場など外気温が高いときは、被写体(人の体温など)との温度差が小さくなり、センサー検知しにくくなります。逆に、夜間や冬場など外気温が低くなったときは、温度差が大きくなるため、センサー検知しやすくなります。

人感(熱)センサーの特性(検知しやすい向き、検知しにくい向き)(周囲の温度が約20℃のとき)



- 暗いときにのみ、動作します。
- ※ 熱を検知する帯で、人感(熱)センサーから複数本出ています。この検知帯域に熱源(人や車など)が入り出すと、温度変化が発生します。センサーはその温度変化を検知して動作します。上図の破線矢印(●●●●)のように、カメラに向かってまっすぐ移動すると、検知帯への入り口が少ないために検知しにくくなります。
- センサー検知の間隔は約1分です。検知後の約1分間は、次の検知を行いません。(「みえますねっとLite」を除く)

明るさ、距離の違いによる画像について

次の場合は、人の顔が判別しにくくなります。

- 昼間など明るいときでも、カメラから約3 m以上離れたとき
ただし、撮影時の被写体の場所(日陰・逆光・撮影角度など)によっては、3 m以内でも映りが悪くなり、人の顔が判別しにくくなります。
- 夕方や夜間など、周りが暗いとき(画質が低下します)
- 動いている人の撮影では画像がぶれるため、顔の判別が難しくなります。

カメラを設置する

お願い

- 登録ガイドに従ってカメラを各機器に登録した後に動作を確認し、配線と設置を行ってください。詳細は登録ガイドを参照してください。
- 正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 各機器に登録するときに、電源を入れ直す必要がありますので、送電装置は手の届く場所に設置してください。
- 本体背面にはり付けられているQRコードは、必ず本体からはがして大切に保管してください。
- カメラの向きは、電源インジケータが必ず上側になるように取り付けてください。（逆に取り付けると、画像が逆になります。）
- ケーブル類は、カメラから外してください。取り付け後に接続してください。
- スタンドにぶらさがったり、カメラ以外のものを固定しないでください。
- ケーブルは、負荷がかからないようにテープ(市販品)で固定してください。
- ACアダプターがコンセントに届く範囲で設置するか、延長コード(市販品)を利用して設置してください。
- 市販のLANケーブルは、必要な長さのLANケーブルを用意してください。



カメラを設置する

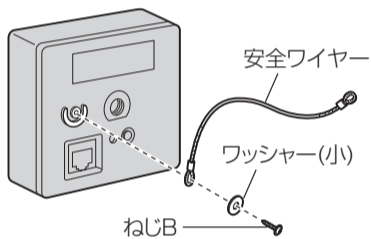
1 カメラ本体の設置場所を決める

以下の点に留意し、カメラ本体の設置場所を決めてください。

- カメラ本体から送電装置までのLANケーブルの長さが30 m以内であること。
- カメラ本体の近くに熱源となるものが無いこと。(カメラ本体の近くに熱源があると、人感(熱)センサーの誤動作の原因になります。)
- 「設置場所について」(P.2ページ)、「動作検知と人感(熱)センサーの検知範囲と特性」(P.3ページ)をよくお読みになった上で設置場所を決めてください。

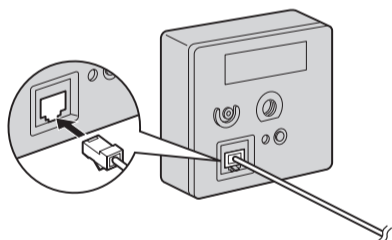
2 カメラに安全ワイヤーを取り付ける

- ねじB(1本: 2.6 mm×10 mm)とワッシャー(小)で安全ワイヤーを取り付けてください。
- カメラをスタンドに取り付け据え置きで設置する場合(P.5ページ)は、安全ワイヤーを取り付ける必要はありません。



3 LANケーブルをカメラに接続する

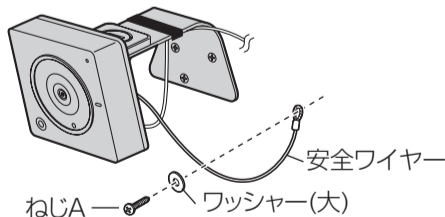
- LANケーブルを接続するときは、「カチッ」という音がするまで差し込んでください。



4 「カメラの取り付け方法」(P.5ページ)を参照してカメラをスタンドに取り付け設置する

5 安全ワイヤーをたるませて、ねじAとワッシャー(大)で壁または天井に取り付ける

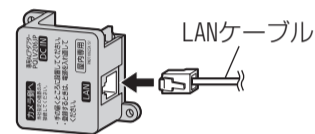
- 壁や天井の材質がモルタルやコンクリートの場合は、アンカーを使用し、確実に固定してください。(P.5ページ)



6 カメラと接続する機器(テレビ/レコーダー/テレビドアホン)にLANケーブルを接続する

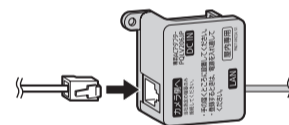
- 送電装置を各機器に接続するためのLANケーブルは付属品には入っておりません。お客様ご自身で用意してください。

7 各機器からのLANケーブルを、送電装置の「LAN」端子に差し込む



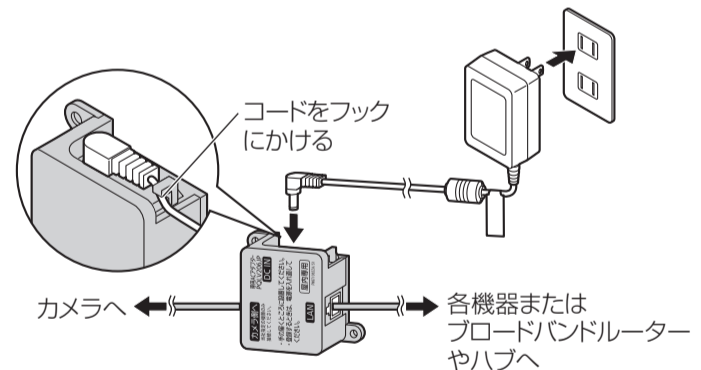
- 送電装置は、ねじA(4 mm×20 mm)を2本使用して固定することもできます。
- 各機器に登録するときに、電源を入れ直す必要がありますので、送電装置は手の届く範囲に設置することをお勧めします。
- 複数の機器を接続する場合は、ハブまたはルーター(市販品)を使用してください。接続の全体図は登録ガイド6ページの接続例を参照してください。

8 カメラ側からのLANケーブルを、送電装置の「カメラ側へ」端子に差し込む

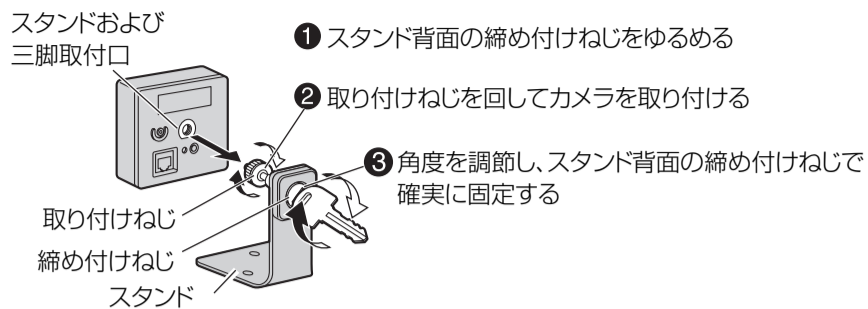


9 ACアダプターを送電装置に接続し、ACアダプターのプラグを、コンセント(AC100V)に差し込む

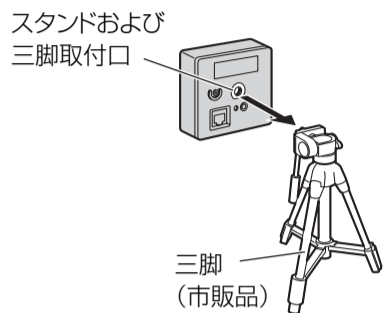
- カメラが起動します。



スタンドに取り付けて据え置きする



三脚に取り付ける

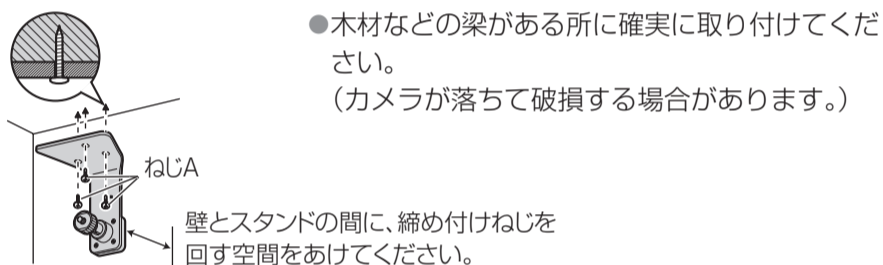


お願い

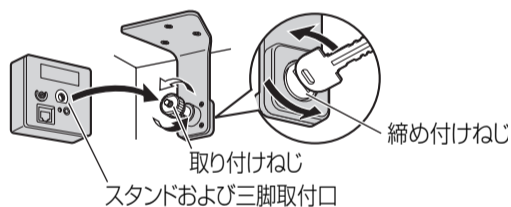
- ねじ部6 mm以上の三脚ねじは使用しないでください。(カメラの三脚取付口が破損する場合があります。)
- 雲台の形状によっては取り付けられない場合があります。

天井に取り付ける

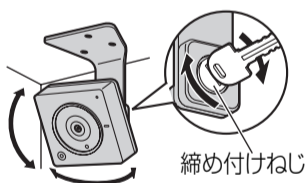
- 1 天井にねじ A (3本 : 4 mm × 20 mm) でスタンドを取り付ける



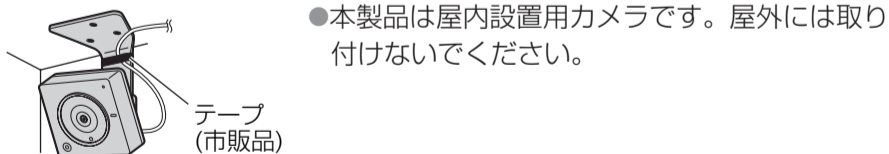
- 2 スタンド背面の締め付けねじをゆるめ、取り付けねじを回してカメラを取り付ける



- 3 角度を調節し、締め付けねじで確実に固定する

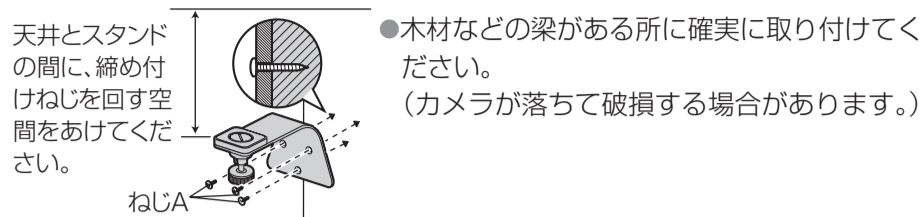


- 4 ケーブルをたるませて市販品のテープでスタンドに固定する

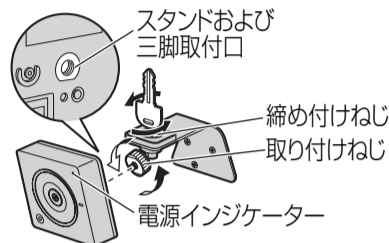


壁に取り付ける

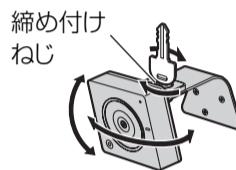
- 1 壁にねじ A (3本 : 4 mm × 20 mm) でスタンドを取り付ける



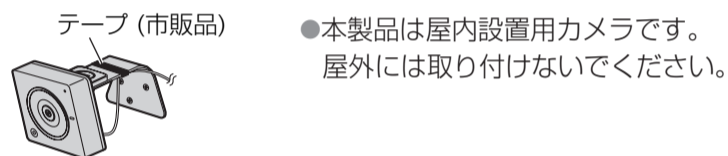
- 2 スタンド背面の締め付けねじをゆるめ、取り付けねじを回してカメラを取り付ける



- 3 角度を調節し、締め付けねじで確実に固定する



- 4 ケーブルをたるませて市販品のテープでスタンドに固定する

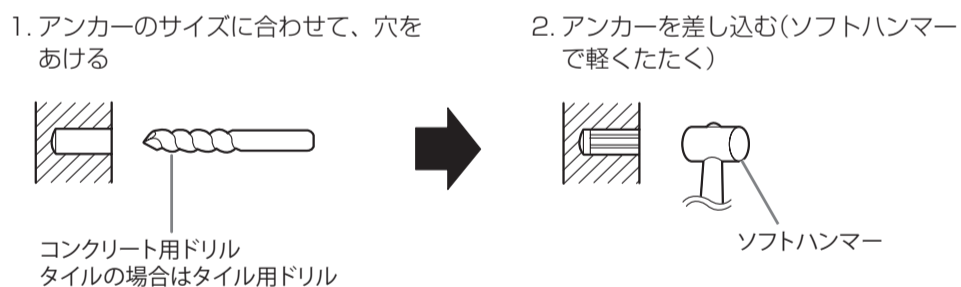


■ 壁への取り付け例

(例) 材質がモルタルやコンクリートの場合

設置したい位置が決まったら、市販のドリルと専用のアンカー (ねじの呼び径 4.0 mm) を用意し、以下の手順を参考に穴をあけてください。

- 1 スタンドを設置したい位置に合わせ、ねじ穴から印を付ける (3カ所)
- 2 安全ワイヤーを取り付ける位置に印を付ける (1カ所)
- 3 印に合わせて下の図のようにドリルで穴をあけ、アンカーを差し込み、ソフトハンマーなどで軽くたたく



お願い

- 壁にあけるドリルの径の大きさは、用意したアンカーの説明書を参照してください。
- 工事は販売店もしくは施工業者に依頼されることをお勧めします。壁への穴あけ工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- モルタル塗壁の場合は、穴あけにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴あけをしてください。

警告

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁や天井には取り付けない

〔 石膏ボード・ALC (軽量気泡コンクリート) ・コンクリートブロック
・厚さ2.5 cm 以下のベニヤ板など 〕



落下により、けがの原因になります。

禁止

- 取り付けるときは、本体を十分に支えられ振動がなく強度のある壁や天井に確実に取り付けてください。

センサーの検知範囲／感度を調整する

動作検知・人感(熱)センサーの検知状況を「設置確認画面」で確認します。また、必要な場合は検知の範囲や感度を調整することができます。

設置確認画面で確認する

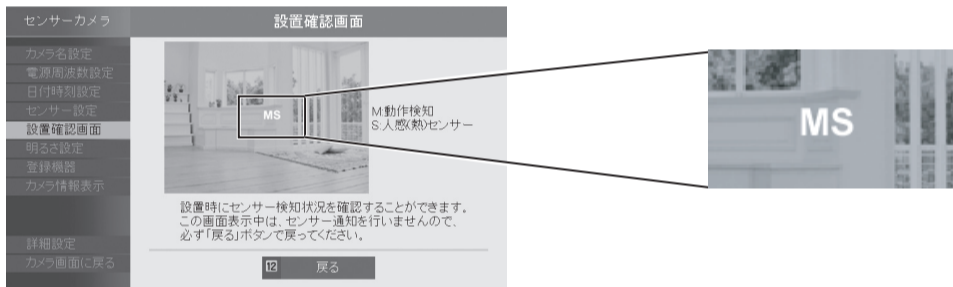
撮影角度の確認を行います。「設置確認画面」を選択し、画面の表示が目的の場所を撮影しているかどうかを確認します。(取扱説明書 65ページ)
もし、ずれている場合はカメラの角度を調整してください。(5 ページ)



逆光・明るさの調整ができます。「明るさ設定」を選択し、調整してください。(取扱説明書 66ページ)

検知範囲を調整する

「設置確認画面」でセンサーの検知状況を確認することができます。(取扱説明書 65ページ)
● 検知したセンサーの種類によって、画面中央に、次の文字を表示します。
M：動作検知
S：人感(熱)センサー検知
● センサー検知すると、機器インジケータが赤点滅します。
この機能を使って、検知させたい被写体で正しく検知し、検知させたくない被写体での誤検知がないように調整します。



1 検知させたい被写体で確認・調整する

カメラを設置した状態で、検知させたい場所、および人物の進行方向でセンサーが検知するかどうかを確認してください。

■ 正しく検知する場合

手順2に進んでください。

■ 検知しない場合

「動作検知および人感(熱)センサーの感度について」(右記)を参照し、以下の設定を行ってください。

「設置確認画面」で「S」が表示されない場合

● 「センサー設定」の「人感(熱)センサー感度設定」で人感(熱)センサーの感度を1ランク上げて調整してください。(取扱説明書 63ページ)

「設置確認画面」で「M」が表示されない場合

● 「センサー設定」の「動作検知感度設定」で動作検知の感度を1ランク上げて調整してください。(取扱説明書 63ページ)

2 検知させたくない被写体で確認・調整する

検知させたくない被写体でセンサーが誤って検知しないかどうかを確認してください。

■ 誤って検知する場合

「動作検知および人感(熱)センサーの感度について」(右記)を参照し、以下の設定を行ってください。

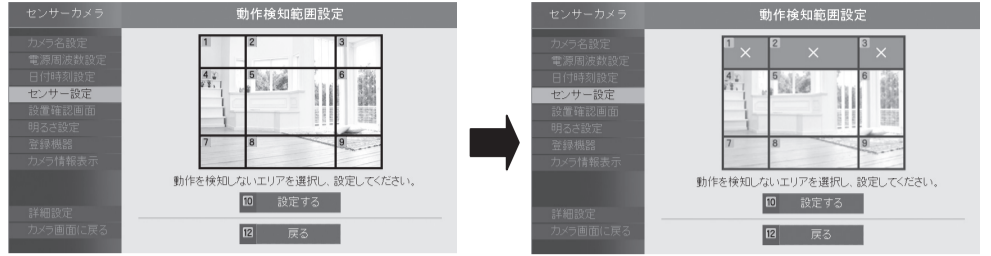
「設置確認画面」で「S」が表示されて誤って検知する場合

- 誤って検知するものが人感(熱)センサーの検知範囲からはずれるようにカメラの向きを変えてください。(5 ページ)
- 「センサー設定」の「人感(熱)センサー感度設定」で人感(熱)センサーの感度を1ランク下げ調整してください。(取扱説明書 63ページ)

調整が完了したら、手順1にしたがって、検知させたい被写体で正しく検知するかを再度確認してください。

「設置確認画面」で「M」が表示されて誤って検知する場合

- 誤って検知するものの画面上の位置を「動作検知範囲設定」で未検知範囲に指定してください。(取扱説明書 64ページ)



- 「センサー設定」の「動作検知感度設定」で動作検知の感度を1ランク下げ調整してください。(取扱説明書 63 ページ)

調整が完了したら、手順1にしたがって、検知させたい被写体で正しく検知するかを再度確認してください。

動作検知および人感(熱)センサーの感度について

動作検知の場合

小さな動作を検知したい場合や過度に検知したくない場合などに調整します。

- 検知範囲は、あくまでもめやすです。被写体の明るさや設置環境により検知範囲が変わります。

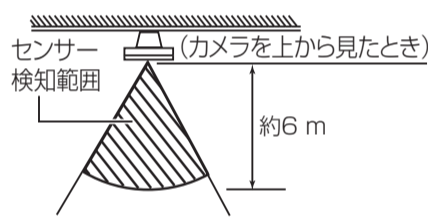
人感(熱)センサーの場合

カメラ本体の「人感(熱)センサー感度設定」を変更することにより(取扱説明書 63ページ)、以下のようにセンサー検知範囲が変わります。

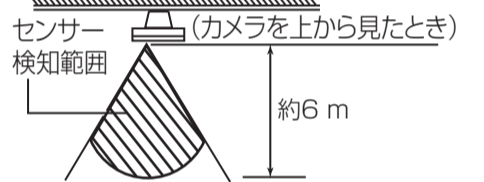
- 検知範囲は、あくまでもめやすです。カメラ設置場所の周囲温度や環境により検知範囲は変わります。

〔周囲温度：20℃のとき〕

■ 感度設定が「高感度」の場合

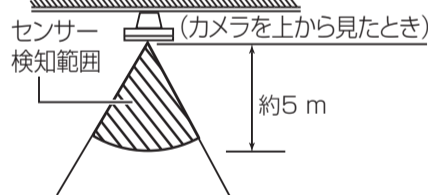


■ 感度設定が「高感度」の場合

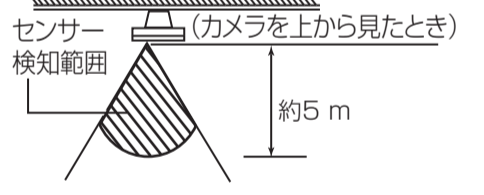


- カメラ設置場所の環境によってセンサーの感度を上げないと使用できないときに設定してください。
- この設定にすると、風や撮影範囲外で反応しやすくなります。

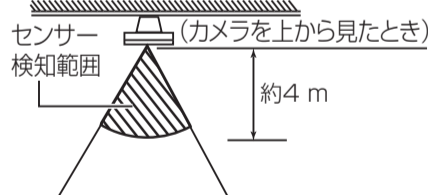
■ 感度設定が「標準」の場合



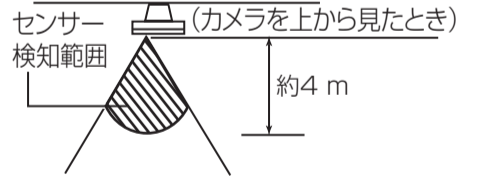
■ 感度設定が「標準」の場合



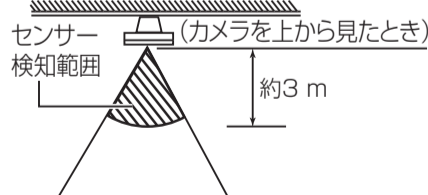
■ 感度設定が「低感度」の場合



■ 感度設定が「低感度」の場合



■ 感度設定が「超低感度」の場合



■ 感度設定が「超低感度」の場合

